

平成31年4月－6月期 板柳町景気動向調査

青森県内の景気動向（4月－6月期）

青森県内の経済は緩やかな回復基調に戻りつつある。個人消費は回復基調を維持し、住宅投資・公共投資は増加に転じ、雇用動向も改善している。

景況調査アンケート協力事業所

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
調査事業所数	6	9	12	18	45
有効事業所数	6	8	12	18	44

従業員規模	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
0人	1	2	0	2	5
1～4人	4	4	11	16	35
5～10人	1	0	1	0	2
11～20人	1	1	0	0	2

過去3ヵ月（H31年1月～3月）と比較して、どうですか

Q1 売上額について

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 増加	0	1	0	0	1
2 横ばい	3	4	5	12	24
3 減少	4	2	7	6	19

Q2 今後3ヵ月の売上単価の見通しについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 増加	2	0	1	2	5
2 横ばい	2	6	8	12	28
3 減少	3	1	3	4	11

→ 全体的に横ばいもしくは減少傾向、今後は増加する期待もある

Q3 仕入単価について

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 増加	5	6	5	9	25
2 横ばい	2	1	7	9	19
3 減少	0	0	0	0	0

Q4 今後3ヵ月の仕入単価の見通しについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 増加	5	4	6	10	25
2 横ばい	2	3	5	8	18
3 減少	0	0	1	0	1

→ 増加傾向にあり今後も増加する見込みとしている

Q5 採算（収益）について

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 増加	0	0	0	0	0
2 横ばい	5	3	6	10	24
3 減少	2	4	6	8	20

Q6 今後3ヵ月の採算（収益）の見通しについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 増加	0	0	2	0	2
2 横ばい	5	4	5	11	25
3 減少	2	3	5	7	17

→ 今期は横ばいもしくは減少、今後も横ばいが50%程度を占める

Q7 資金繰りについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 好転	0	0	0	0	0
2 横ばい	5	6	7	13	31
3 悪化	2	1	5	5	13

Q8 今後3ヵ月の資金繰りの見通しについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 好転	0	0	0	0	0
2 横ばい	5	5	7	15	32
3 悪化	2	2	5	3	12

→ 横ばいもしくは悪化と感じており、今後、好転の見通しはないとしている

Q9 設備投資について

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 投資した	3	1	2	3	9
2 投資しなかった	4	6	10	15	35

Q10 今後3ヵ月の見通しについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 投資したい	3	2	5	3	13
2 投資しない	4	5	7	15	31

30%が設備投資しており、今後も30%ほど設備投資したいとしている

Q11 労働力について

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 増加	0	1	0	1	2
2 変わらない	4	4	11	16	35
3 減少	3	2	1	1	7

Q12 今後3ヵ月の労働力見通しについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 増加	1	0	0	0	1
2 横ばい	5	5	10	16	36
3 減少	1	2	2	2	7

以前と変わらないとしたところが多く、今後の見通しも変わらない

Q13 前期と比べた景況の現状判断

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 良くなっている	0	0	0	1	1
2 変わらない	4	4	6	11	25
3 悪くなっている	3	3	6	6	18

Q14 今後の景況の見通しについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 良くなる	0	0	0	0	0
2 変わらない	4	3	7	9	23
3 悪くなる	3	4	5	9	21

以前と変わらないとしたところが多かったが今後の見通しは悪い。

Q15 最も最優先される経営課題（複数選択可）

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 需要の低迷	5	3	6	4	18
2 販売価格の低下	1	1	3	0	5
3 原材料の高騰	3	4	2	9	18
4 人件費の増加	1	2	1	3	7
5 取引条件の悪化	1	1	0	0	2
6 同業者との競争激化	3	1	1	3	8
7 人材確保難	0	2	0	1	3
8 経営者の高齢化	1	2	2	4	9
9 後継者難	1	2	1	3	7
10 その他	1	0	0	2	3



需要の低迷と原材料の高騰が目立つ一方で、経営者の高齢化や後継者不足も課題と感じている方が多い

板柳町の景気動向（4月－6月期）

建設業では受注額は増加しているものの仕入単価の上昇により、採算は横ばいもしくは減少傾向である。製造業でも仕入単価の増加が目立ち、売上に転嫁できていない状況である。小売業は需要の低迷や購買力の流出による売上減少とした事業所が多かった。サービス業では原材料や仕入価格の高騰のほか経営者の高齢化が課題となっている。

県内の景気は緩やかな回復基調となっているが、町内では景気回復の実感は得られていない状況である。消費税10%に向けて今後も仕入価格の高騰や消費の縮小が懸念される。